

# 明治大学 2020 年度 【春期】 国際化サポート 海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

<b>研修名</b>	アデレード大学 GEAP
<b>所 属</b>	理工学部 機械情報工学科 1年
<b>プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。(250～300 字程度)</b>	
<p>このプログラムでは月曜日から木曜日にスピーキング、リーディング、リスニング、ライティングを学び、金曜日は各々取りたい授業をとりました。わたしはオーストラリアについての授業を取り、観光地や自然、歴史や料理などについてまなびました。授業に現地学生のボランティアが参加してくださることや、ほかのプログラムに参加している中国人と交流する機会もあり、オーストラリアの文化に限らず他国の文化や料理などを知ることができました。またライティングは丁寧に添削してくださり、プレゼンなどにも丁寧なフィードバックを得ることができたため、改善点を見つけやすかったです。授業内では原稿を書くための準備の仕方やパワーポイント作成時の注意なども学びました。</p>	
<b>バーチャルアクティビティへの参加等、授業時間以外の活動について、どのような経験を得ることができたか記載してください。(250～300 字程度)</b>	
<p>授業時間外の o-chat という現地学生ボランティアとの雑談ができるミーティングに毎週参加しました。最初のほうは日本人学生も多かったのですが、回数を経るにつれ日本人学生が減り、最後のほうはボランティア 2 人と私、のようなブレイクアウトルームで話すことができました。最初のほうは話に参加するタイミングをつかめなかったり、英語が出てこなかったりして大変でしたが、だんだん話が途切れることなく盛り上がるようになっていきました。現地学生とはいえ、留学生も参加するためマレーシアや中国からの学生も参加していて様々な国の英語に慣れることができたのもいい経験でしたし、日本のことを伝える練習にもなりました。</p>	
<b>オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。(250～300 字程度)</b>	
<p>デメリットはやはり英語を使う時間が少ないことにあると思います。休み時間や放課後の英語での雑談などが無いこと、現地の空気を感じることができないことはとても残念でした。また、発言をするタイミングをつかむのも慣れるまでむずかしかったです。</p> <p>メリットとしては画面共有をすることで相手に説明がしやすかったことや、zoom の機能や google document にクラス全員が自由に記入していくことで議論が進みやすかったことです。また、グループワーク時に一人がドキュメントを画面で共有することもでき、話し合いが円滑に進みました。</p> <p>さまざまなサイトを活用した授業だったので自習のヒントも得ることができました。</p>	
<b>今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。(250～300 字程度)</b>	
<p>参加し始めたころは英語が全然出てこなかったのですがたくさん使っていくことで言葉が出てくるまでにかかる時間がどんどん短くなっていくことを実感したため、今後は読み書き以外にも声に出していくこと、英作文をして自分の言葉を文にする練習を続けていきたいと考えています。今回返ってきたフィードバックや成績表をもとに自分の弱点を見直し改善していきたいと思います。プログラム参加前と変わりませんが、今後は海外の大学で学ぶために今回学んだこと、アドバイスしていただいたことをもとに英語の勉強を進めていきます。</p>	
<p>【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。</p>	